

2019 年度

関西学院大学ボランティア活動支援センター

# ヒューマン・サービス支援室 活動報告書

関西学院大学 ヒューマン・サービス支援室

## ■ はじめに

ボランティア活動支援センター長 挨拶 .....	2
富田 宏治	
ヒューマン・サービス支援室長 挨拶 .....	3
武田 丈	
ボランティアコーディネーター 挨拶 .....	4
成安 有希	
ボランティアコーディネーター 挨拶 .....	5
岡 秀和	
2019年度学生コーディネーター代表 挨拶 .....	6
沖本 祐基	

## ■ ヒューマン・サービス支援室

1. ヒューマン・サービス支援室とは .....	8
学内における位置づけ	
2019年度の取り組み	
2020年度の計画	
2. ボランティアコーディネート .....	13
支援室の利用・活動状況（西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパス、西宮聖和キャンパス）	
外部団体からの情報提供数	
3. 災害支援活動 .....	16
2019年度の災害支援活動について	
災害支援活動スケジュール	
[熊本地震支援]	
くまモンへの活動報告	
第13回 熊本地震現地ボランティア活動	
第2回 熊本地震現地ボランティア参加者の集い	
第14回 熊本地震現地ボランティア活動	
ラジオ番組「いきなり熊本ラジオ！～現状とこれまでの振り返り～」	
生協祭に出店「うまいもん甘酒」	
第15回 熊本地震現地ボランティア活動	
ラジオ番組「kumamo to heart 未来へつなぐ支援」	
第16回 熊本地震現地ボランティア活動	
冊子作成「私たちと熊本の4年の歩み～熊本地震現地ボランティアを通じて考えたこと～」	
2019年度 熊本地震現地ボランティア参加者数	
現地ボランティア参加者感想	
[防災啓発活動・講座など]	
復興ボランティア学ワークショップ	

災害ボランティア養成講座  
災害ボランティア体験講座～楽しく学ぼう！～（ボランティア week2019 支援室企画）  
写真洗浄ボランティア

## ■ 学生コーディネーター

1. 学生コーディネーター（学生 CO）とは	30
年間活動スケジュール	
2019 年度の活動方針、目標	
2. 学生コーディネーターの活動	32
春ボラ	
ヒューマン・サービス支援室紹介@キャンパスライフ ABC!	
ヒューマン・サービス支援室紹介@START UP KSC!	
上ヶ原ボランティア EXPO	
三田ボランティア EXPO	
ボラツアー	
出張ボラセン@上ヶ原	
食べ残し NO ゲーム体験会	
出張ボラセン@三田	
ボランティア week2019	
学生 CO 総会	
3. 基礎研修	39
研修の趣旨・内容	
4. 来年度に向けて	41
2020 年度学生コーディネーター代表 挨拶	
西宮上ヶ原キャンパス 中川 令実	
神戸三田キャンパス 赤畑 清花、井吹 未奈	

## ■ 記録事項

資料集	44
ボランティア活動支援センター規程	50
ヒューマン・サービス支援室規程	51
ボランティア活動支援センター名簿	52
ヒューマン・サービス支援室名簿	52
2019 年度 学生コーディネーター代表部名簿	52



はじめに



ボランティア活動支援センター長

**富田 宏治** (法学部教授・副学長)

関西学院には、関東大震災への支援活動をはじめ、長きにわたって災害支援活動に携わってきた歴史があります。近くは1995年の阪神・淡路大震災を契機として、関西学院大学の学生、教職員のボランティア組織としてヒューマンサービスセンターが発足し、以来20年以上にわたり活動して参りました。他にも様々な学生ボランティア活動団体が、多様なボランティア活動を積み上げてきています。

これらの伝統を引き継ぎ、去る2016年4月には関西学院大学ボランティア活動支援センターが設立され、ボランティア活動に対する大学としての相談窓口が開設されました。これによって、大学主導のもとに学生諸君のボランティア活動の支援を行なうとともに、学内の様々なボランティア活動団体相互の協力・連携をはかる態勢が整えられました。

ボランティア活動支援センターの事業推進のため、同センター内にヒューマン・サービス支援室も設置されることとなりました。ヒューマン・サービスという名前からもお解りいただける通り、ヒューマン・サービス支援室は、上記のヒューマンサービスセンターの実績を直接に受け継ぐものであり、学生などによるボランティア活動を支援し促進する場となっています。その業務は、ボランティア活動への支援・助言、ボランティア活動に関する情報収集と提供、ボランティア活動についての啓発、ボランティア活動に関する評価とその公表など多岐にわたるものとなっています。

近年、地震、台風、大雨など様々な自然災害が発生しています。このような状況の中で、政府・地方自治体などの公的な支援だけでなく、ボランティアによる様々なレベル・内容の支援がますます必要とされてきています。このような状況下で、ヒューマン・サービス支援室の役割がますます重要となってきています。2016年春に発生した熊本地震では、多くの人々が被災されました。その支援のために、本学ヒューマン・サービス支援室では、2016年度から2019年度にかけ、毎年4回（新型コロナウイルス感染症拡大のため2019年度は3回）、計15回にわたって、延べ302人の学生を現地に送り出し、避難所や仮設団地において、現地状況を踏まえ継続的に様々な支援活動を実施してきました。また2018年7月の西日本豪雨の被災地（岡山県倉敷市真備町）に対しても、計4回延べ72人の学生を派遣して、現地支援にあたりました。

関西学院大学ボランティア活動支援センターはヒューマン・サービス支援室とともに、皆様方との連携をいっそう深め、社会へのさらなる貢献をめざして歩んで参りたいと存じます。

ヒューマン・サービス支援室 室長

武田 丈 (人間福祉学部教授)

関西学院大学ボランティア活動支援センター、ヒューマン・サービス支援室は2016年4月の設立から4年が経ちました。設立以来、支援室長をつとめてこられた関嘉寛先生の1年間の留学に伴い、私が2019年度の室長をつとめさせていただきました。この1年間、非常に多くの方々のご支援やご協力をいただきながら、何とか支援室を無事に運営することができました。本当にありがとうございました。本来であれば、お一人お一人にお礼を申し上げるべきところですが、紙幅の関係もあり、この報告書をもって、お礼にかえさせていただきたいと思いません。

ヒューマン・サービス支援室は、関西学院大学内におけるボランティアセンターとして、大学内におけるボランティア情報の集約や発信、そして何より大学内にボランティア文化を創り上げることをミッションとしています。このミッションを果たすために、教員・専従コーディネーター・事務局・学生コーディネーターが連携しながら、1年間それぞれの役割を果たしてきました

2019年度の活動の大きな柱は、学生コーディネーターのさらなる成長、学生へのボランティアコーディネートやボランティア関連イベントの充実、最終年度となった熊本地震現地ボランティア活動などの災害対応、そして西宮上ヶ原キャンパス以外の主要2キャンパス（神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパス）での活動の拡充でした。それぞれの内容については、本文中で詳しく報告させていただきます。

2019年度は、立ち上げからこの支援室で専従コーディネーターを務めた成安有希さんの最終年度でもありました。成安さんとともに成長してきた支援室にとって、成安さんの任期満了に伴う退職は非常に残念ですが、室長に復職される関先生のもと、2020年4月より後任の専従コーディネーターとともに、支援室の活動はさらに発展していくことを信じております。その際には、みなさまのさらなるご支援、アドバイスなどが必要となると思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアコーディネーター

## 成安 有希

---

ボランティア活動支援センター、ヒューマン・サービス支援室が開室してから4年が経ちました。西宮上ヶ原キャンパスでは認知度も年々上がり、学生コーディネーター（学生CO）の皆さんとともに様々なイベントにチャレンジできるまでになりました。

2019年度は、昨年度に本格的に活動を開始した神戸三田キャンパスでの認知度を向上させ、ヒューマン・サービス支援室を定着させることが大きな目標でした。2018年度に引き続き週2回の開室でしたが、学生COにも新しいメンバーを迎え、10人ほどの規模で活動をすることができました。特に今年度は、2大イベントである「ボランティアEXPO」と「ボランティアweek」を神戸三田キャンパスでも初めて実施できたことが大きな成果となりました(34,37ページ参照)。学生COが少ない中での開催のため、神戸三田キャンパスで活動する多くのボランティア団体・サークルとイベントの準備から当日の運営までを協力して行うことで、他のキャンパスにはない、神戸三田キャンパス独自の雰囲気イベントを作り上げることができました。神戸三田キャンパスでの活動の大きな第一歩を学生COの皆さんやボランティア団体・サークルの学生たちと一緒に踏み出すことができたのではと思います。

また、2016年度より開始した「熊本地震現地ボランティア」は今年度が大学として活動する最終年度となり、活動をどのように締めるのかということが課題でした。参加学生に対しては振り返りの時間をこれまで以上に丁寧に進めることを意識し、学生の学びを充実させることを目指しました。また、これまで受け入れてくださった現地の方々に対してはこれまで参加した学生たちと感謝の気持ちを形に表そうと、これまでの写真を寄せ集めたサンクスボードなどを準備していました。しかし、最終回である第16回は残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となり、これまで4年間お世話になった方々に直接お会いすることが叶わず活動を終えることとなりました。とても残念ではありましたが、これまで築いた関係は今後も切れることなく、ずっと続いていくと思っています。このプログラムを通して、本当にたくさんの方々に出会い、4年間サポートしていただきました。すべての皆様に感謝申し上げます。

そして、今年度いっぱい私自身も退職となりました。ヒューマン・サービス支援室の立ち上げに奮闘した4年間。初めは何もなかった支援室も、今ではたくさんの学生が出入りし、年間を通じて様々なイベントを実施できるまでになりました。学生と多くの時間を過ごし一緒に奮闘しながら、私自身もたくさんのことを学ばせていただきました。お世話になった皆様には、この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

ヒューマン・サービス支援室はまだまだたくさんの課題がありますが、新たなメンバーにバトンタッチし、これからも変化をしながら大きく成長していってくれと期待しています。関係各所の皆様、今後ともヒューマン・サービス支援室をどうぞ宜しくお願いいたします。

ボランティアコーディネーター

## 岡 秀和

ボランティア活動支援センター、ヒューマン・サービス支援室が開設して4年目を迎える2019年度、私は主に西宮上ヶ原キャンパスの活動を担当しました。今年度も学生コーディネーター（学生CO）の皆さんと共に様々なイベントを実施しました（30ページ参照）。4年目を迎えるにあたり、各イベントについても、前年度までの良かったことは引き継ぎながら、さらに発展できることや今年のメンバーだからこそできることは何か、というところを意識しながら企画・運営に取り組んできました。昨年度までの実績があるからこそ何をどう変えていくかを悩む部分が多くあったり、プレッシャーを感じてしまい企画の途中で離脱せざるを得なくなってしまったメンバーもいたり、まさに悪戦苦闘する日々が続きました。そんな苦難もありましたが、向上心を持って日々挑戦し続ける学生COの皆さんがいたからこそ、より多くの関学生を巻き込み、ボランティアに取り組む「きっかけ」が作れたと思っています。その象徴的な出来事が2019年12月に実施したボランティアweekの学生CO企画『ツリーに「いいね！」を』でした。250名の学生に声をかけることを目標にしていたのですが、目標を大幅に超える305名の学生と話すことができました。これほど目標を上回る企画ができたことはこれまでにないことだったので、驚きも嬉しさもとても大きかったです。1年間、様々な企画や日々の活動を続けてきたことが実を結んだ出来事でした。

さて、2019年度は、2016年から実施してきた熊本地震現地ボランティアの最終年度でもありました。4年にわたって継続してきたからこそ、「関学生にはこの話をしても良いと思った」と住民の方々が暮らしの悩みを話してくださることがありました。一方で、「地震の話はしたくないけれど、関学生と会えるのが楽しみで来た」と言ってくれる方もいました。現地ボランティアに参加する学生は毎回入れ替わりますが、どの回に参加したメンバーも、これまでの継続を大事にして、住民の方々が自分たちと過ごすひと時を充実したものにしてほしいという思いから積極的に活動に取り組んでいたことが印象的でした。住民の皆様には4年間、私たちの来訪を温かく迎えてくださったことにお礼を申し上げます。また、活動を実施するにあたり支えていただいたすべての皆様にも心よりお礼を申し上げます。

ヒューマン・サービス支援室は4年間を通じて様々な活動を積み重ねてきました。積み重ねがあるからこそできることがありますし、逆に前例に捉われないからこそできることもあると感じており、いかにその両者の良いところを組み合わせるかがこの先を見据えたときに大切なことだと思っています。日頃から支えてくださっている皆様のご期待に沿えるよう、またより多くの学生と出会い「きっかけ」をつかんでもらえるように、さらなる発展を目指して日々取り組んでいきたいと思っております。2020年度もどうぞよろしくお願いたします。

2019年度学生コーディネーター代表

**沖本 祐基** 文学部3年

---

2019年度の活動は、団体にとってもメンバー一人ひとりにとっても大きな成長があり、一方では大きな壁にぶつかった苦難な年でもあったと思います。しかし、過去を振り返ってみても、一番私たちらしく関西学院大学の学生コーディネーター（学生CO）として活動することが出来たと考えています。

2019年度の年間目標は「ボラ充～ボランティアって何～」としました。初心に戻り、多くのボランティアに参加することで、ボランティアの「楽しさ」を知り、それを関西学院大学の学生に伝える、そしてまたボランティアに参加するという「循環」＝「日常生活がボランティアで充実」であって欲しいという願いからうまれました（年間目標について詳細は31ページに記載）。この年間目標をもとに、春ボラ冊子の製作やボランティアEXPO等のイベントを行ったり、ミーティングの中でオススメのボランティア情報を教えあったり、多くのメンバーがボランティアに参加する姿を見て、団体として一歩進化できたと感じました。これからもメンバーと一緒に、たくさんのボランティアに参加したいと思っています。そして、冒頭に「私たちらしく関西学院大学の学生COとして活動することができた」と書きましたが、私は学生COの一番の魅力は「相手の気持ちに寄り添う」ことができることだと思います。私たちはイベントを行う際に、「どうやったら気軽に参加してもらえるか」「どうやったら満足してもらえるか」を自然に考えています。例えば、春ボラ冊子の製作では、学生に見やすいようにロゴやイラストを構成したり、連絡先だけを記載したまとめページを作りました。出張ボラセンでは、学生が気軽にボランティア情報を閲覧できるようにチラシラックを設置しました。メンバー一人ひとりが相手の気持ちに寄り添うことを企画に活かすことが出来た1年だったと感じています。これからもイベントを通じて相手の気持ちに寄り添うことを忘れず、具体的な形として実現することで、多くの学生にボランティアの「楽しさ」を伝えるために精進していきます。

最後に、私はこの団体が大好きです。どんな時も一生懸命に活動するメンバー。どんな時も優しく支えてくれる職員の方々。私はこの団体のメンバーとして、代表として活動できたことをとても誇りに思っています。ありがとうございます。今後学生COがさらに飛躍し、輝くことを願っています。

# ヒューマン・サービス支援室



## 1. ヒューマン・サービス支援室とは

### 学内における位置づけ

関西学院大学ボランティア活動支援センター、ヒューマン・サービス支援室（以下、支援室）は、大学内におけるボランティアセンターの役割を果たす部署として2016年4月に設置されました。

支援室の母体の一つになったのは、1995年阪神・淡路大震災後に設立された関西学院ヒューマンサービスセンター（HSC）です。HSCでは、教職員と学生が協力して、さまざまなボランティアコーディネートがおこなわれていました。そういう意味で、関西学院大学におけるボランティアセンターの歴史は古いものです。

しかし、残念ながら、HSCは、関西学院大学内におけるボランティア活動の組織的な支援という点において課題を抱えていました。このような課題に対応するために、何年間かにわたる学内協議や勉強会の末に、大学内で組織的に位置づけられた組織として開設されました。

支援室は、関西学院大学のスクールモットーである "Mastery for Service" を体現するボランティア活動を、さらに広げ、多くの学生が参加できる環境作りをミッションとしています。そのために、ボランティア活動の情報の発信や共有を中心に、ボランティアをしたい学生とボランティアをしてほしいニーズをつなげていく活動をおこなっています。たとえば、支援室の存在を学内各部署や学生に知ってもらうために、ボランティアEXPOなどのイベントを行っています。支援室は、学内におけるボランティア活動の情報をコントロールすることではなく、活動している人びと、活動したい学生たちの自主性を尊重し、窓口として学内外のボランティアを活性化することを目的としています。

また東日本大震災での大学の組織的な支援を再考し、発展させることもヒューマン・サービス支援室に課せられたミッションです。関西学院大学では、関東大震災時もボランティアを現地に派遣しているほど、災害救援において伝統があります。この伝統を受け継ぎ、災害が多発する現代社会において、被災者や被災地に寄り添う活動を組織的にやりたいと考えています。

## 2019 年度の取り組み

設立から 4 年目に入る 2019 年度は、2018 年度までに積み上げてきた活動の継続・発展を強化しました。主な取り組みとして、以下の 5 つが挙げられます。

- ボランティア情報の収集と発信
- 学生 CO との協働（ボランティア関連イベントの企画・実施）
- 神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパスでの活動
- 熊本地震被災地支援活動
- 災害支援対応の準備

### <ボランティア情報の収集と発信>

学内外の団体のボランティア募集情報の収集、整理をして、来室学生に紹介しました。学内外での認知度が上がり、各方面から情報が寄せられるようになったため、様々なジャンルのボランティア情報が支援室に集まり、より多種多様な活動の提供ができるようになりました。また、昨年度から導入したタブレット端末での情報提供が定着したことで、より正確かつ詳細な情報について整理して伝えることができるようになりました。加えて、支援室前以外の場所にもチラシラックを設置し、より多くの学生に情報を届けられるようになりました。ボランティア情報の収集と発信については、引き続き重要な課題として取り組んでいきます。

### <学生 CO との協働（ボランティア関連イベントの企画・実施）>

学生 CO と協働して活動するにあたり、初めて基礎研修に講師をお招きするなど研修の充実化を図りました。また、2019 年度も引き続きボランティアに関するイベントを学内外で実施しました（イベントの詳細は 30 ページ以降に掲載）。学生 CO の中で実行委員を編成し、企画書作成から企画を実施するまで、どのようなステップを踏むのかを教職員と確認しながら進めていきました。毎年実施しているイベントについてはこれまで行ってきたことを踏襲するだけではなく、改善策を考え、試行錯誤を重ねることでより充実した活動が実施できました。また、年度の終わりには総会を行い、1 年を振り返るだけでなく、2020 年度に向けて具体的な目標・計画を定めるためのワークを実施する機会を作ることができました。

### <神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパスでの活動>

関西学院大学の主要 3 キャンパスは、それぞれ異なる性格を持っているため、それぞれのキャンパスの特性に応じた活動を展開しました。まず、昨年度から継続して神戸三田キャンパス（KSC）での活動を定例化しました。具体的には、週に 2 回ヒューマン・サービス支援室を開室した他、KSC 学生 CO が中心となり、他の学内団体と協力することで KSC では初めて「ボランティア EXPO」を開催しました。また、「ボランティア week」では西宮上ヶ原と同内容の企画（展示と学生 CO 企画）を実施することができました。活動の継続とイベントの発展の効果として、学内団体から支援室への相談が大幅に増えたほか、熊本地震現地ボランティアに参加した学生が何度も支援室を訪問するなど、関係づくりができました。

また、教育学部が置かれている西宮聖和キャンパス（NSC）では、ほかの 2 キャンパスに比べると規模も小さく、カリキュラムの特性があるため、既存の学内団体との連携を深めることに取り組みました。具体的には、昨年度は学内団体が主催していた「ボランティア EXPO」を初めて支援室主催で開催することができました。

## 2019 年度の取り組み

### <熊本地震被災地支援活動>

2016 年度～ 2018 年度に引き続き、年間 4 回の活動実施を目指して準備していましたが、第 16 回は新型コロナウイルスの流行により中止となり、3 回の活動となりました。学生の関心も依然として高く、毎回募集定員の 2 倍ほどの応募がありました。参加者は、事前研修を通して、自分たちが現地でする活動を自ら考え、準備をしました。2019 年度が現地ボランティアの最終年度となることに伴い、「熊本地震現地ボランティア 参加者の集い」を実施してこれまでの活動の成果を確認したほか、参加学生にアンケートを実施して集約したり、学生有志メンバーによる自主企画をサポートしたりと今後につながる取り組みを実施しました。

### <災害支援対応の準備>

災害発生時、迅速に学生のボランティア活動が支援できるように準備を進めました。具体的には、ボランティア活動支援センターとしてどのような確認の手順をとるかフローチャートを作成して整理したほか、西宮市社会福祉協議会と災害時の連携について確認を進めました。また、西宮市社会福祉協議会、認定 NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク、石巻専修大学山崎ゼミ等と連携して災害ボランティアに関する講座やワークショップを開くことで平常時から学生の防災意識や災害支援の知識を高めることに取り組みました。

## 2020 年度の計画

2019年度の振り返りから、重点的に取り組む活動は以下の5点にしました。

- 学生COとの協働
- 年間スケジュール・イベントの見直し
- 神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパスでの活動の発展
- 広報活動の強化
- 災害対応の確立・準備

### <学生COとの協働>

大学ボランティアセンターである支援室にとって、学生COの活躍は必須のものと考えています。5年目に向け、さらにその力を発揮できるような環境作りを進めていきます。そのために、以下のような点に留意しながら活動していきます。

- ・研修の発展
- ・日常活動（部署活動など）の強化

### <年間スケジュール・イベントの見直し>

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施できないイベントが発生することから、これまで実施してきたイベントの見直しや、年間スケジュール自体の見直しをして今後必要な取り組みを検討していきます。そのために、以下のような点に留意しながら活動していきます。

- ・オンラインでできる取り組みの確認
- ・各種イベントの成果の確認
- ・新規企画の検討

### <神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパスでの活動の発展>

西宮上ヶ原キャンパスでの活動だけでなく、他の2キャンパスの学生に対しても引き続きそれぞれの特性に合った支援をしていく必要があると考えています。以下のような点に留意しながら活動していきます。

- 神戸三田キャンパス
  - ・学生団体やキャンパス事務室との連携
  - ・活動および活動場所の継続
  - ・ボランティアに関するイベントの実施、拡充
  - ・開室日程の拡大
- 西宮聖和キャンパス
  - ・学生団体やキャンパス事務室との連携
  - ・ボランティアに関するイベントの実施
  - ・認知度の向上

#### <広報活動の強化>

支援室の利用者数は年々増加傾向にありますが、まだ支援室の存在そのものが知られていないことや、知っているが活用したことがないという学生も多くいることから、広報活動により力を入れていきます。そのために、以下のような点に留意しながら活動していきます。

- ・WEB上での情報発信（Webサイト、SNSなど）
- ・キャンパス内での情報発信（掲示板の活用、チラシラックの増設など）

#### <災害対応の確立・準備>

今後発生する災害に対して、学生が支援活動に関わることができるように対応の確立・準備や体制づくりが必要だと考えています。そのために、以下のような点に留意しながら活動していきます。

- ・西宮市社会福祉協議会など関係団体との連携の継続
- ・学内外の関係部署・組織との連携
- ・講座やワークショップを通じた防災・減災啓発活動

## 2. ボランティアコーディネート

### 支援室の利用・活動状況

#### 【西宮上ヶ原キャンパス】

月別来室者のべ数 (人)

月	ボランティア紹介	ボランティア相談	その他	合計
4月	42	5	22	69
5月	33	3	13	49
6月	28	6	12	46
7月	23	1	22	46
8月	1	1	9	11
9月	9	5	7	21
10月	32	2	12	46
11月	15	5	24	44
12月	20	4	16	40
1月	19	6	17	42
2月	2	3	29	34
3月	4	0	4	8
合計	228	41	187	456

#### 【神戸三田キャンパス】

2018年4月から、神戸三田キャンパスでもヒューマン・サービス支援室を開室しています。

基本的には週に2回開室し、上ヶ原キャンパスと同じようにボランティア情報の紹介や、相談事業を行いました。

※長期休暇中は閉室

月別来室者のべ数 (人)

月	開室日数	ボランティア紹介	ボランティア相談	その他	合計
4月	5回	12	4	13	29
5月	6回	5	2	5	12
6月	8回	16	3	4	23
7月	8回	10	4	3	17
9月	2回	3	1	1	5
10月	6回	3	3	5	11
11月	8回	6	1	8	15
12月	9回	16	0	37	53
1月	6回	6	2	9	17
合計	58回	77	20	85	182

#### 【利用者内訳 (Welcomeシート記入者分)】

\*Welcomeシートとは

支援室に来室した学生に記入してもらっているシートです。

学部・学年・名前のほか、興味があるボランティアのジャンルを√してもらうことでボランティア紹介に活用しています。

(人)

学年/学部	神	文	社会	法	経済	商	理工	総合政策	人間福祉	教育	国際	経営戦略研究科	合計
1年生	0	26	21	34	18	3	3	31	7	4	13	0	160
2年生	0	3	6	7	3	9	6	41	12	9	0	0	96
3年生	2	6	3	8	5	4	2	6	8	3	1	0	48
4年生	0	3	2	4	2	2	2	2	1	0	3	0	21
研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	2	38	32	53	28	18	13	80	28	16	17	1	326

※災害支援プログラム参加学生などWelcomeシートを記入していない学生や、複数回来室した学生で1枚しかシートを記入していないケースがあったため、来室者のべ数と利用者内訳で人数が違ってきます。

※学生コーディネーターは来室者数としてカウントをしていません。

### 【西宮聖和キャンパス】

2019年度は学生COと連携して、初めてヒューマン・サービス支援室が主催となる「聖和ボランティアEXPO」を開催しました。

## 聖和ボランティア EXPO

**日 程**：2019年4月24日（水）10：30～16：50

**場 所**：西宮聖和キャンパス ラーニングコモンズリプラ2階

**内 容**：「関学最大のボランティアの祭典」と称し、毎年開催している関学大生が所属するボランティア団体の合同説明会。来場者は会場を自由に出入りでき、興味のある団体の話を聞くことができる。2018年秋に「聖和キャンパス学生YMCA」「CORs」主催で開催（支援室は協力）したものを引継ぎ、初めてヒューマン・サービス支援室主催として開催。今年のコンセプトは「カフェ」。

**来場者数**：延べ40人

**出展団体**：19団体

- ・ヒューマン・サービス支援室 学生コーディネーター
- ・K.G.BrainHumanity
- ・IVUSA 兵庫西宮クラブ
- ・関西学院上ヶ原ハビタット
- ・PENS
- ・関関COLORS
- ・西宮まちづくり連携プロジェクト
- ・リーダーズカフェ
- ・学習ボランティアサークル ALIVE
- ・聖和キャンパス学生YMCA
- ・神戸ライフセービングクラブ
- ・ほっとコミュニティ
- ・西宮地区BBS会
- ・阪神つばめ学習会
- ・CORs
- ・ボランティアプラットフォーム
- ・子どもの友
- ・教学の森カウンセラー会
- ・聖和キャンパスキャリアセンター



## 外部団体からの情報提供数

支援室では、提供していただいたボランティア情報を17種類のジャンルに分けて紹介しています。ジャンルは、1つの情報に対して最大3つまで選択しています。

ジャンルごとの情報件数

(情報)

子ども・青少年	子どもたち、中高生などに関わる活動（キャンプ、子ども食堂、子どもたちの工作サポートなど）	152
教育	主に教科指導（勉強）に関わる活動（学校内での児童・生徒支援事業、塾での勉強支援、学習支援活動など）	37
福祉（障がい）	障がいがある方の余暇活動の同行、支援施設での活動など	67
福祉（高齢）	高齢者と関わる活動（介護施設での活動など）	18
医療・保健	献血、病院でのボランティア活動、心に病を持つ人への支援活動など	16
国際	国内外問わず、海外の方と関わる活動（海外での支援活動、国内での日本語教育支援活動など）	83
環境	環境保護・保全に関わる活動（植林活動、ごみゼロ運動、清掃活動、水質保全活動など）	45
動物	動物保護、生態系の再生・保全活動など	1
芸術・文化	美術館・博物館での活動、音楽祭のサポート、地域文化の保全活動など	18
スポーツ	スポーツに関わる活動	24
災害支援	防災活動、災害時の救援・支援活動、災害記念式典の運営など	68
まちづくり	地域住民と関わる活動、地域PR活動、まちあるきの運営など	82
祭り・イベント	お祭りや行事の運営、お手伝いなど	123
人権	難民・難病がある方の支援や権利擁護活動など	19
スタディツアー	参加者と現地の人々の相互理解や体験学習を目的とする活動（平和学習、文化体験など）	14
学内団体	大学登録団体、学生連盟加盟団体、所属している学生の8割以上が本学の学生orミーティングを本学のキャンパス内で行っている団体	32
その他	上記にあてはまらないボランティア活動（講演会、勉強会、ワークショップを含む）	110
	総計	909

月別情報件数（うち、来室した団体数）

4月	45件（9）	
5月	46件（10）	
6月	58件（4）	
7月	39件（4）	
8月	10件（2）	
9月	23件（4）	春学期合計 221件(33)
10月	55件（8）	
11月	42件（1）	
12月	22件（5）	
1月	24件（3）	
2月	21件（7）	
3月	46件（2）	秋学期合計 210件(26)
総計	431件（59）	

### 3. 災害支援活動

#### 2019年度の災害支援活動について

2019年度は、主にこれまで続けてきた熊本地震現地ボランティア活動の継続と、西宮市社会福祉協議会・認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク（以下、NVNAD）との連携強化（講座開催など）に取り組んできました。

2016年度から継続して行っている熊本地震現地ボランティア活動は引き続き益城町の仮設住宅にて活動を実施し、仮設住宅の入居期限が2020年3月末までとなっていることから、第15回をもって活動を終了しました（第16回は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）。活動は4年間で計15回、活動に参加した学生は延べ302人でした。2019年度は、仮設住宅の集会所でのイベント実施と、戸別訪問という形で各住宅へ訪問してお掃除や畑仕事のお手伝いなどを行いました。

大学としての活動は最終年度となってしまいますので、学生個人がどのような形で熊本や被災地への関心を継続して持ち続けられるのか、またそのために参加した学生一人ひとりにできることは何かを考える1年となりました。その結果として、参加した学生の自主的な発案により、さくらFMでラジオ番組を制作してより多くの人に熊本の現状を伝えようという動きがあったほか、生協祭に出展して売り上げを寄付しようという動きがありました。また、様々な災害に関する講座や学外の防災啓発イベントに参加することにもつながっただけでなく、卒業論文に現地ボランティアから学んだことを書く学生もいました。このような成果をまとめ、発信するために2021年度に「熊本地震現地ボランティアフォーラム（仮題）」を開催予定であり、お世話になった住民の方をお招きし、活動の意義などを振り返ることにしています。

今年度は西宮市社会福祉協議会・NVNADと協力して「災害ボランティア養成講座」等の啓発講座を西宮上ヶ原キャンパス内で開催しました。さらに、台風19号により水害など甚大な被害をもたらした長野県長野市へのボランティアバス活動の参加者募集（NVNAD主催）の広報協力を行う等、学生が災害支援活動に参加する機会の提供を増やすことにも取り組みました。長野市の活動に参加した学生から、水害で汚損した写真をきれいにする「写真洗浄」の活動を支援室で実施したいという発案があり、主に神戸三田キャンパスのヒューマン・サービス支援室（週2回開室）で学生COや有志の学生が集まって写真洗浄活動に取り組みました。

## 災害支援活動スケジュール

日 程	内 容	場 所
4月13日(土) ～14日(日)	熊本現地視察	熊本県益城町他
4月10日(水) ～19日(金)	第13回熊本地震現地ボランティア 募集期間	
5月22日(水)	くまモンへの活動報告	西宮上ヶ原キャンパス 社会学部棟 多目的室2
6月7日(金) ～10日(月)	第13回熊本地震現地ボランティア活動	熊本県益城町
6月24日(月) ～7月2日(火)	第14回熊本地震現地ボランティア 募集期間	
6月30日(日)	第2回熊本地震ボランティア参加者の集い	大阪梅田キャンパス1408教室
7月30日(火) 8月1日(木)	「いきなり熊本ラジオ!～現状とこれまでの振り返り～」 ラジオ番組収録(2019年9月1日(日)放送)	さくらFM
8月29日(木) ～9月2日(月)	第14回熊本地震現地ボランティア活動	熊本県益城町
9月4日(水)	復興ボランティア学ワークショップ	西宮上ヶ原キャンパス H302教室
9月19日(木)	災害ボランティア養成講座	西宮上ヶ原キャンパス H302教室
9月24日(火) ～10月1日(火)	第15回熊本地震現地ボランティア 募集期間	
10月15日(火) ～17日(木)	有志学生によるチャリティー企画「うまいもん甘酒」	西宮上ヶ原キャンパス旧学生会館前 プラザ
11月15日(金) ～18日(月)	第15回熊本地震現地ボランティア活動	熊本県益城町
11月27日(水) ～12月10日(火)	第16回熊本地震現地ボランティア 募集期間	
12月4日(水)～ 2020年1月21日(火)	台風19号被災地(長野県長野市)支援活動 写真洗浄ボランティア	神戸三田キャンパスII号館210教室
12月7日(土)	災害ボランティア体験講座～楽しく学ぼう!～ (ボランティアweek 2019 企画)	西宮上ヶ原キャンパス H305教室
12月27日(金)	「kumamo to heart 未来へつなぐ支援」 ラジオ番組収録(2020年1月17日(金)放送)	さくらFM
2020年 2月27日(木) ～3月2日(月)	第16回熊本地震現地ボランティア活動予定日 【新型コロナウイルス感染症の影響で中止】	
2月28日(金)	第16回熊本地震現地ボランティアメンバー 現地の方々へのプレゼント作成	西宮上ヶ原キャンパス 吉岡記念館 会議室1
3月31日(火)	「私たちと熊本の4年の歩み ～熊本地震現地ボランティアを通じて考えたこと～」冊子発行	

## 【熊本地震支援】

### くまモンへの活動報告



日 程：2019年5月22日（水）14：30～15：00

場 所：西宮上ヶ原キャンパス  
社会学部棟1階 多目的室2

内 容：

- ・活動報告
- ・活動に参加した感想
- ・くまモンからのお礼：サイン、プレゼント贈呈



### 第13回 熊本地震現地ボランティア活動



日 程：2019年6月7日（金）～10日（月）

参加人数：学生16人 / 教職員3人

1年生：5人、2年生：4人、3年生：3人、  
4年生：3人、M1：1人

活動内容：

**木山仮設団地**

活動：コーヒー作り、ハンドアロマ、茶話会、戸別訪問

**馬水東道仮設団地**

活動1日目：七夕飾り作り、子ども遊び、茶話会、料理お手伝い

活動2日目：なんでも屋さん（掃除などのお手伝い）、茶話会、料理お手伝い、戸別訪問

**安永仮設団地**

活動：おはぎ作り＆茶話会、おはぎの配布（戸別訪問）



## 第2回 熊本地震現地ボランティア参加者の集い



### \*開催趣旨

第1回～13回の現地ボランティア参加メンバーに呼びかけ、これまでの活動を振り返るとともに、活動に参加したことで学生たちにどんな変化があったのかを集約するために開催  
 ※2018年度報告書P19記載の「熊本地震現地ボランティアOB OG会」を第1回とする

**日 程：**2019年6月30日（日）15：00～17：00

**参加人数：**学生・卒業生34人／教職員2人

1年生：2人、2年生：5人、3年生：8人、  
 4年生：11人、M1：1人、卒業生：7人

**場 所：**大阪梅田キャンパス1408教室

### 内 容：

- ・全13回の活動内容の振り返り
- ・益城町の現状報告（街の様子、仮設の様子、住民の様子など）
- ・ワーク①各活動回でどんなことをしたか
- ・ワーク②現地ボランティア活動が「今」こんな風に活きている
- ・アンケート

## 第14回 熊本地震現地ボランティア活動



**日 程：**2019年8月29日（木）～9月2日（月）

**参加人数：**学生16人 / 教職員4人

1年生：4人、2年生：6人、3年生：2人、4年生：3人  
 M1：1人

### 活動内容：

#### 語り部さんと断層見学

熊本地震を引き起こした布田川断層帯が表出している堂園地区を見学

#### お宅訪問

仮設でお世話になった4人の方の新居を訪問し、震災当時の話や現在の暮らしについて伺う

#### 木山仮設団地

活動：風鈴作り、風車作り、茶話会、戸別訪問

#### 馬水東道仮設団地

活動1日目：うちわ作り、茶話会、お誕生日会準備

活動2日目：窓掃除、お抹茶立て、茶話会、戸別訪問

#### 安永仮設団地

活動：海苔巻き作り、スイカファチェ作り、戸別訪問

## ラジオ番組「いきなり熊本ラジオ！～現状とこれまでの振り返り～」



日 程：(収録日) 2019年7月30日(火)、8月1日(木)  
(放送日) 2019年9月1日(日) 13:00～14:00

協 力：さくら FM 株式会社

内 容：

番組名：『いきなり熊本ラジオ！

～現状とこれまでの振り返り～』

- ① はじめに：タイトルの由来や放送経緯など
- ② 木山仮設住宅・安永仮設住宅で活動したメンバーより活動紹介
- ③ 馬水東道仮設住宅で活動したメンバーより活動紹介
- ④ 「熊本地震現地ボランティア参加者の集い」を経てメンバーが感じたこと
- ⑤ おわりに：メッセージ

## 生協祭に出店「うまいもん甘酒」



\*うまいもん甘酒とは

熊本地震現地ボランティア参加メンバーや学生コーディネーターが中心となり、学生有志を募って始めたチャリティーイベント

日 程：2019年10月15日(火)～17日(木) 10:30～16:00  
※最終日のみ15:30まで

場 所：西宮上ヶ原キャンパス 旧学生会館前プラザ

主 催：関西学院大学 学生有志

後 援：ヒューマン・サービス支援室

売上計：55,900円

⇒必要経費を除く12,843円をベルマーク教育助成財団に寄付

## 第 15 回 熊本地震現地ボランティア活動



日 程：2019年11月15日（金）～18日（月）

参加人数：学生 16 人 / 教職員 3 人

1 年生：6 人、2 年生：5 人、3 年生：2 人、4 年生：3 人

活動内容：

**阿蘇大橋崩落現場の見学**

阿蘇ホテルの方に当時の様子や崩落の原理について等伺う

**木山仮設団地**

活動：茶話会、窓掃除等お手伝い（戸別訪問）

**馬水東道仮設団地**

活動 1 日目：サツマイモプリン作り、ラグビーゲーム&茶話会、子ども遊び、料理お手伝い

活動 2 日目：エコカイロ作り、茶話会、子ども遊び、料理お手伝い、戸別訪問

**安永仮設団地**

活動：クリスマスツリー（リース）作り、フラッグ作り、茶話会、戸別訪問



## ラジオ番組「kumamo to heart 未来へつなぐ支援」



日 程：（収録日）2019年12月27日（金）

（放送日）2020年1月17日（金）19：00～20：00

協 力：さくらFM株式会社

内 容：

番組名：『kumamo to heart未来へつなぐ支援』

- ① はじめに：タイトルの由来や放送経緯など
- ② 木山仮設住宅・安永仮設住宅で活動したメンバーより活動紹介とメッセージ
- ③ 馬水東道仮設住宅で活動したメンバーより活動紹介とメッセージ
- ④ 4年間の活動の終わりを迎えて～これまでの振り返り～
- ⑤ おわりに：メッセージ



## 第16回 熊本地震現地ボランティア活動



\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動中止  
代わりに現地の方々へ送るためのプレゼント製作を実施

日 程：2020年2月28日（金）9：30～11：30  
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 吉岡記念館会議室1

参加人数：学生16人

1年生：7人、2年生：5人、3年生：1人、4年生：2人  
M1：1人

プレゼント内容：

フラワーアレンジメント、写真立て、手紙、折り紙など  
過去参加学生製作メッセージボード  
(木山仮設・馬水東道仮設・安永仮設へ郵送)



## 冊子作成「私たちと熊本の4年の歩み～熊本地震現地ボランティアを通じて考えたこと～」



\*冊子の概要

2019年度が熊本地震現地ボランティア最終年度になることに伴い、1年をかけて、第13回～16回に参加したメンバーがそれぞれの回ごとに「伝えたいこと」「記録したいこと」を考えてページを作成。各回、帰りのフェリーでページ構成を考えてコンペ形式で構成を選考・確定し、活動終了後に作成に取り組んだ。

内容：

はじめに 活動・冊子概要

第13回 熊本地震現地ボランティアの活動「あたたかさ笑顔」

第14回 熊本地震現地ボランティアの活動「カラフル・ハートフル」

第15回 熊本地震現地ボランティアの活動「One Team」

第16回 熊本地震現地ボランティアの活動「笑顔にはじめてご縁にトキメケ!!」

引率教職員メッセージ

おわりに ヒューマン・サービス支援室 室長より

※本誌44ページに表紙・裏表紙を掲載



2019年度 熊本地震現地ボランティア参加者数

(人)

学年	神	文	社	法	経済	商	理工	総合 政策	人間 福祉	教育	国際	研究科	合計
1年生	0	1	0	5	3	1	0	1	2	1	1	0	15
2年生	0	1	2	3	1	2	0	5	1	0	0	0	15
3年生	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	7
4年生	0	1	3	2	0	0	2	0	1	0	0	0	9
研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	0	3	7	12	6	4	2	6	4	1	1	2	48

※第16回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、参加者数には含まず。



## 現地ボランティア参加者感想

### 第 13 回 熊本地震現地ボランティア活動参加学生

社会学部 2 年  
市野 朱音

自分たちは熊本地震をきっかけに発災直後から、ボランティアとして関わってきていて、今回は発災から 3 年経っているという状況でボランティアとして何ができるだろうと不安に思っていた。けれどちょっとしたお手伝いをしたり、会話をしたりすることを通じて、お互いが明るい気持ちになり自然と笑顔がこぼれるような時間を作れることが、熊本を 3 年経って訪れる意味のひとつになっているのかなと思った。普段若い人と話す機会がないとおっしゃっていたので、学生ボランティアだからこそ目に見える支援以外にできることだと感じた。

### 第 13 回 熊本地震現地ボランティア活動参加学生

法学部 1 年  
津崎 麻織

今回初めてボランティアに参加したのですが、参加前のボランティアのイメージは力仕事などで復興の役に立つことなどばかり考えていたけど、実際今回参加してみて地域の住民の方々と話し一緒に楽しむことがボランティアの 1 つでもあるということに気づきました。私自身、ずっと料理をしていた日もあったのですが、料理を通して住民の方々と話すことができ、たくさん教わったりしました。ボランティアには色々な形があり、色々な方法で住民の方々に喜んでもらえるということを感じました。

### 第 14 回 熊本地震現地ボランティア活動参加学生

商学部 1 年  
下園 智音

今回のボランティアで出会った方々は、時間の経過とともに少しずつ成長していこうとされていて、その姿勢がすごいと感じました。また、普段では心が動かされることはないような出来事に涙を流したり、感謝できたりと、災害によってまったくもってすべてのことがマイナスになるわけではないということも学びになりました。現地の皆さんが温かく迎えてくれて嬉しい反面、もっと皆さんのお話を聞けるように頑張ろうという気持ちになりました。

**第 14 回 熊本地震現地ボランティア活動参加学生**社会学部 4 年  
濱口 碧

多くの人々（バックグラウンドが異なる人々）の視点に立って物事を見ることが出来るきっかけになったと感じました。被災地や集会所の一つ一つをとっても、親族を亡くされた方、体を負傷した方、今は前を向いて未来をどんどん切り開こうとしている方などパッと見では知り得ることの出来ない事情をこの熊本ボランティアを通じ、一人の関学大生としてだからこそ、入り込める良い機会をもらえていることに感謝を感じました。今回の活動で学んだ人との接し方や思いやり、気づかいはどの環境においても絶対にプラスに働くと思うので、一過性のものとして終わるのではなく繋げていきたいと強く感じました。

**第 15 回 熊本地震現地ボランティア活動参加学生**法学部 1 年  
墨谷 遼介

活動に対して自分がボランティアとして何をすべきなのか、現地の方々にとって自分のような学生ボランティアは今どう関わることができるのか不安でしたがその感情も大きく変わりました。復興が進み、仮設住宅で生活している人が減っていくのは良いことですが、今も仮設住宅で生活している人の様子を見ると、まだまだ現地の方々のためにできることはあるし、皆さんの日常やホッとした表情を増やしていくためにも自分たちが少しでも寄り添えたらと思うようになりました。同時に月日が経っても深く心に残る傷を抱えながらも笑って穏やかにそれでも力強く生き続ける現地の方々に関わりながら自分自身もすごく勇気をもらいました。

**第 15 回 熊本地震現地ボランティア活動参加学生**文学部 4 年  
手納 紗也香

何度も木山仮設で活動してきて初めての戸別訪問でした。これまでは集会所での活動のみを経験してきていて、戸別訪問とどんな違いがあるのかなと考えていました。実際に活動してみると、まず出会える人のカテゴリーが戸別訪問の方が多かったように思います。集会所での活動だと来てくださる方がありがたいことに常連さんであることがよくあり、逆に初めて来てくださる方が少ない気がすることがありました。しかし今回の活動では初めて出会う方と深く交流させていただけました。集会所の中だけでは出会えない方々へのアプローチとしての戸別訪問の魅力を感じました。

## 【防災啓発活動・講座など】

### 復興ボランティア学ワークショップ



日 程：2019年9月4日（水）13：00～16：00

場 所：西宮上ヶ原キャンパスH号館302教室

参加人数：学生8人

1年生：1人、2年生：3人、3年生：2人、4年生：2人

共 催：石巻専修大学山崎ゼミナール

内 容：

- ・ワーク①「フィッシュボウル」などアイスブレイク
- ・ワーク②「復興ボランティア学」授業講演録読書、関心の確認
- ・ワーク③「未来新聞」の作成、発表

### 災害ボランティア養成講座



日 程：2019年9月19日（木）10：00～16：00

場 所：西宮上ヶ原キャンパスH号館302教室

参加人数：学生23人

1年生：8人、2年生：1人、3年生：11人、4年生：3人

講 師：認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク  
常務理事 寺本 弘伸 氏  
西宮市社会福祉協議会 職員

内 容：

- ・クロスロードゲーム
- ・パネルディスカッション
- ・昼休憩～非常食を試食してみよう～
- ・これだけは知っておこう「防災気象情報と警戒レベルと対応について」
- ・ワークショップ「地図から考える～私たちの街で災害が起こったとき」
- ・まとめ：決意表明～一人ひとりのアクションを～

## 災害ボランティア体験講座～楽しく学ぼう！～（ボランティア week2019 支援室企画）



**日 程：**2019年12月7日（土）  
 ①10：00～12：00 ②13：00～15：00  
 ※①と②は同内容

**場 所：**西宮上ヶ原キャンパスH号館305教室

**参加人数：**①学生12人（うち、学生サポーター4人）  
 ②学生13人（うち、学生サポーター3人）

**講 師：**認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク  
 常務理事 寺本 弘伸 氏  
 西宮市社会福祉協議会 職員

**内 容：**

- ・HUG（避難所運営ゲーム）体験
- ・災害ボランティアクイズ大会
- ・防災食体験（お昼休み、希望者のみ）



## 写真洗浄ボランティア



**\*写真洗浄ボランティアとは**

認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク主催の台風19号被災地（長野県長野市）支援現地ボランティアに参加した学生が中心となり、被災地で汚れてしまった写真を洗浄する活動を実施

**日 程：**2019年12月4日（水）～2020年1月21日（火）  
 毎週火曜日・木曜日  
 ※冬期休暇期間を除く

**場 所：**神戸三田キャンパスII号館210教室

**実施回数・参加者数：**13回、延べ43人





# 学生コーディネーター



## 1. 学生コーディネーター（学生 CO）とは

### 年間活動スケジュール

日 程	内 容	場 所
4月2日(火) ～4日(木)	新入生オリエンテーション : PPTでの活動紹介、春ボラ配布	西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパス、 西宮聖和キャンパス 各教室等
4月5日(金)	ヒューマン・サービス支援室紹介@キャンパスライフABC! 「はじめようボランティア！ーボランティア説明会ー」 「ボランティアなんでも相談コーナー」	西宮上ヶ原キャンパスB304教室
4月5日(金)	ヒューマン・サービス支援室紹介@STARTUPKSC! 「はじめようボランティア！ーボランティア 説明会&なんでも相談コーナーー」	神戸三田キャンパスアカデミック コモンズシアタールーム
4月11日(木) ～12日(金)	上ヶ原ボランティア EXPO	西宮上ヶ原キャンパス 吉岡記念館ラウンジ
4月16日(火) ～17日(水)	三田ボランティア EXPO	神戸三田キャンパス 第二厚生棟学生ラウンジ
4月16日(火) 18日(木)	上ヶ原新歓：お昼ご飯会	西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生
4月22日(月) 25日(木)	上ヶ原新歓：学生 CO 活動説明会	西宮上ヶ原キャンパスH302教室
4月24日(水)	聖和ボランティア EXPO	西宮聖和キャンパス ラーニングコモンズリプラ 2階
5月18日(土)	基礎研修	西宮上ヶ原キャンパス 新学生会館会議室 9
7月～8月	ボラツアー	各ボランティア先
10月23日(水) ～29日(火)	出張ボラセン@上ヶ原	西宮上ヶ原キャンパス 旧学生会館ラウンジ前（ポケットママ前）
11月9日(土)	食べ残し NO ゲーム体験会	大阪梅田キャンパス1002教室
11月28日(木)	出張ボラセン@三田	第三厚生棟 (フードコンビニ「Colorful Box」前)
12月2日(月) ～7日(土)	ボランティア week ・展示「Let's!みるぼら 2019」 ・学生 CO 企画「Let's! クリスマス」 ・支援室企画 「災害ボランティア体験講座 ～楽しく学ぼう!～」	西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館エントランス 旧学生会館ラウンジ前（ポケットママ前） H305教室 西宮聖和キャンパス ラーニングコモンズリプラ 1階 神戸三田キャンパス アカデミックコモンズインフォメーションホール ほか、キャンパス内全域
12月21日(土)	学生 CO 総会	西宮上ヶ原キャンパス 新学生会館会議室 9

## 2019年度の活動方針、目標

### 2019年度年間目標「ボラ充～ボランティアって何～」

2019年度の目標は「ボラ充～ボランティアって何～」としました。学生CO一人ひとりがボランティアの魅力を見出し、多くの人に伝えていくことで関西学院大学をボランティアで盛り上げたいという想いからこの目標を設定しました。

2018年度の活動の中で見えた学生COの課題は、年々増え続けているボランティア募集情報の数に知識面で対応しきれないということでした。また、「紹介する」という役割だけをこなす存在になってしまい「ボランティア活動そのものへの関心度の減少」も課題として挙げられました。

この課題を解決するため、学生COが初心に帰りボランティア活動に参加することによって「楽しさ」を見つけるべきだと考えました。学生CO自身がボランティアへ積極的に参加することで、自然とコーディネートに必要な知識や情報も身につけることができました。結果として、一人ひとりがボランティアの充実化に取り組み、その意義を考えることが出来ました。

改めて気付けた知識や情報、ボランティアの意義について自分たちの中だけに留めず、コーディネートの場やイベントの企画を通して伝えていくことで、一人でも多くの学生に充実したボランティア活動を行ってほしいと思います。

4年目という節目に改めてボランティアとは何かを見つめ直したことで、新たな学生COをスタートすることができた1年でした。



## 2. 学生コーディネーターの活動

### 春ボラ



#### \*「春ボラ」とは

「春のボランティア情報誌」の略称。学内のボランティア団体を1冊にまとめた冊子。毎年新入生オリエンテーションで新入生全員に配布する。

日程：4月2日（火）～4日（木）

場所：各学部の新入生オリエンテーション実施教室等

内容：新入生オリエンテーションにて「春ボラ」を配布すると同時に、パワーポイントを使ってヒューマン・サービス支援室の紹介をする。

#### ■「春ボラ」掲載団体（32団体）

- ・ヒューマン・サービス支援室
- ・ヒューマン・サービス支援室 学生コーディネーター（学生CO）
- 学生連盟加盟団体（1団体）
  - ・関西学院大学 宗教総部
- 大学登録団体（12団体）
  - ・関西学院上ヶ原ハビタット
  - ・学習ボランティアサークル ALIVE
  - ・ほっとコミュニティ
  - ・K.G. Brain Humanity
  - ・フィリピンの女性と子どもと一緒に歩む学生団体くじら
  - ・CLUB GEORDIE
  - ・Eco-Habitat 関西学院
  - ・SSV 関西学院
  - ・アイセック関西学院大学委員会
  - ・子どもの友
  - ・J-FUN ユース K.G
  - ・聖和キャンパス学生 YMCA
- 学内団体（8団体）
  - ・IVUSA 兵庫西宮クラブ
  - ・地域フィールドワーク宝塚
  - ・日本手話サークルはなまる
  - ・Salus Aqua
  - ・Bridge for Children,KGU
  - ・学生国際協力団体 CUE
  - ・CORs
  - ・国内ボランティアサークルつなぐ
- 学外団体（10団体）
  - ・関関 COLORS
  - ・学生団体 Infinite connection
  - ・どんぐり文庫
  - ・教学の森カウンセラー会
  - ・PENS
  - ・NPO 法人リーダーズカフェ / 宝塚つばめ学習会
  - ・西宮地区 BBS 会
  - ・ふらっとパーク
  - ・ボランティアプラットフォーム
  - ・神戸ライフセービングクラブ
- 学内部署から公認または支援を受けている団体（1団体）
  - ・SCCV（教育学部）



## ヒューマン・サービス支援室紹介@キャンパスライフ ABC !



「はじめようボランティア！ーボランティア説明会ー」  
「ボランティアなんでも相談コーナー」

日程：2019年4月5日（金）10：00～16：00  
※11：00～11：30、14：00～14：30はボランティア  
説明会を実施

場所：西宮上ヶ原キャンパスB号館304教室

来場者数：説明会182人、相談会72人

説明会内容：

- ・ボランティアQ&A
- ・ヒューマン・サービス支援室の紹介
- ・活動の注意点
- ・ボランティア活動体験談



## ヒューマン・サービス支援室紹介@START UP KSC !



「はじめようボランティア！  
ーボランティア説明会&なんでも相談コーナーー」

日程：2019年4月5日（金）

①10：30～11：00

②14：00～14：30

場所：神戸三田キャンパス アカデミックコモンズシア  
タールーム

来場者数：101人

説明会内容：

- ・ボランティアQ&A
- ・ヒューマン・サービス支援室の紹介
- ・活動の注意点
- ・ボランティア活動体験談



## 上ヶ原ボランティア EXPO



**日程**：2019年4月11日（木）～12日（金）

両日ともに10：30～16：50

**場所**：西宮上ヶ原キャンパス 吉岡記念館ラウンジ

**内容**：「関学最大のボランティアの祭典」と称し、毎年開催している関学大生が所属するボランティア団体の合同説明会。来場者は会場を自由に出入りでき、興味のある団体の話を聞くことができる。今年のコンセプトは「カフェ」。

**来場者数**（延べ）：265人

**出展団体**：17団体

（各日9団体ずつ、学生COのみ2日間出展）

- ・ヒューマン・サービス支援室 学生コーディネーター
- ・K.G.BrainHumanity
- ・日本手話サークルはなまる
- ・IVUSA 兵庫西宮クラブ
- ・関西学院上ヶ原ハビタット
- ・PENS
- ・関関COLORS
- ・西宮まちづくり連携プロジェクト
- ・NPO法人リーダーズカフェ/宝塚つばめ学習会
- ・学習ボランティアサークルALIVE
- ・聖和キャンパス学生YMCA
- ・アイセック関西学院大学委員会
- ・神戸ライフセービングクラブ
- ・関西学院大学宗教総部
- ・ほっとコミュニティ
- ・西宮地区BBS会
- ・阪神つばめ学習会

## 三田ボランティア EXPO



**日程**：2019年4月16日（火）～17日（水）

両日ともに10：30～16：50

**場所**：神戸三田キャンパス 第二厚生棟学生ラウンジ

**内容**：「上ヶ原ボランティアEXPO」「聖和ボランティアEXPO」と同じく、関学大生が所属するボランティア団体の合同説明会。神戸三田キャンパスで初めての開催。今年のコンセプトは上ヶ原・聖和と同じく「カフェ」。

**共催**：CLUB GEORDIE、Eco-Habitat関西学院

**来場者数**（延べ）：171人

**出展団体**：11団体

- ・ヒューマン・サービス支援室 学生コーディネーター
- ・CLUB GEORDIE
- ・Eco-Habitat 関西学院
- ・フィリピン女性と子どもと一緒に歩む学生団体くじら
- ・Bridge for Children, KGU
- ・J-FUNユース K.G.
- ・SSV関西学院
- ・Salus Aqua
- ・関西学院大学YMCA神戸三田キャンパス
- ・国内ボランティアサークルつなぐ
- ・アイセック関西学院大学委員会

## ボラツアー



**日程：**夏季休暇中（7～8月）

**活動先：**8か所

- ・関西学院 子どもセンター さぼさぼ：子ども預かり保育（8月8日、29日）
- ・むこっ子ロード：打ち水大作戦（7月26日）
- ・たからづか子ども食堂：学習支援、調理（8月5日、19日）
- ・特別養護老人ホームにしのみや苑：納涼祭（8月24日）
- ・自立生活センターリングリング：福祉1日インターンシップ（8月2日、21日）
- ・方除地藏尊保存会：地藏盆お祭り運営（8月23日）
- ・大阪YMCA：とさぼりサマーセミナー2019（7月28日）
- ・一般財団法人日本熊森協会：保育熊のエサやり、寝床掃除など（8月25日）

**内容：**

ボランティアには関心があるが、1人で参加するには不安な学生対象に、学生COと一緒に活動先に行くイベント。活動先は毎年変更し、様々な活動を経験できるようにしている。

**参加者数（延べ）：**70人

（一般学生：25人、学生CO：45人）

## 出張ボラセン@上ヶ原



**日程：**2019年10月23日（水）～25日（金）、  
28日（月）～29日（火）10：00～16：00

**場所：**西宮上ヶ原キャンパス

旧学生会館ラウンジ前（ポケットママ前）

**内容：**

普段はヒューマン・サービス支援室で活動している西宮上ヶ原キャンパス学生COが学内の別の場所に文字通り「出張」して、ボランティア紹介をするイベント。「何かしたいけれど、支援室に行く勇気がない」という学生にきっかけを提供することが狙い。

**来場者数（延べ）：**43人

## 食べ残し NO ゲーム体験会



\*学生CO内企画

日程：2019年11月9日（土）14：00～16：00

場所：大阪梅田キャンパス1002教室

協力：NPO法人DeepPeople

参加者：10人

1年生：4人、2年生：2人、3年生：3人、  
4年生：1人

内容：NPO法人DeepPeopleから講師をお招きして体験会を実施。カードゲームを通じて食品ロスについて学ぶことでより深くボランティアについて知るという目的と、学生CO同士での交流を深める目的で開催した。

## 出張ボラセン@三田



日程：2019年11月28日（木）12：40～15：00

場所：神戸三田キャンパス第三厚生棟

（フードコンビニ「Colorful Box」前）

内容：普段はII号館210教室で活動している神戸三田キャンパス学生COが学内の別の場所に文字通り「出張」して、ボランティア紹介をするイベント。神戸三田キャンパス内においてヒューマン・サービス支援室や学生COの認知度をあげることが狙い。

来場者数（延べ）：4人

## ボランティア week2019

日程：2019年12月2日（月）～7日（土）

内容：

1. 展示「Let's!みるぼら2019」

場所：西宮上ヶ原大学図書館エントランス、西宮聖和ラーニングコモンズリプラ1階、神戸三田アカデミックコモンズインフォメーションホール

内容：ヒューマン・サービス支援室紹介、学生COの活動紹介、ボランティアについてのアンケート等

2. 学生CO企画「Let's!クリスマス」

場所：西宮上ヶ原旧学生会館ラウンジ前（ポケットママ前）、神戸三田アカデミックコモンズインフォメーションホール、西宮上ヶ原・神戸三田キャンパス内全域等

内容：

- ① ツリーに「いいね！」を：サンタ帽をかぶった学生COが2人1組で学内をまわり、一般学生に話しかける。一般学生にはオーナメントを1つ引いてもらう（オーナメントにはボランティアに関する話題シールを貼り付けておく）。引いた話題シールに書いてある内容について学生COと一般学生で会話をする。オーナメントはツリーに飾ってもらう。

【結果（実数／目標数）】

上ヶ原：305人／250人

三田：70人／50人

- ② サンタ大量発生：サンタ帽をかぶった学生CO数名とサンタクロースの服装をした学生COが学内を集団になって歩いて、チラシ・ティッシュを配る。

3. 支援室企画「災害ボランティア体験講座～楽しく学ぼう!～」

\*詳細は27ページに記載



## 学生 CO 総会

日程：2019年12月21日（土）

〔午前の部〕 9：00～13：10

〔午後の部〕 13：50～16：00

場所：西宮上ヶ原キャンパス 新学生会館会議室 9

内容：〔午前の部〕 2019年度イベント振り返り、2020年度運営体制の確認

〔午後の部〕 2020年度目標・活動計画の発表、目標に向けてのワークショップ等

参加者数：支援室教職員 8 人（午前の部のみ）、学生CO 50 人



### 3. 基礎研修

ヒューマン・サービス支援室では、活動の中核にある学生 CO がコーディネーターとして十分なスキルを発揮するために、研修をおこなっている。2019 年度は年度初めとなる春に基礎研修を行った。

基礎研修の目的は、新たに入ってきた学生 CO を主たる対象とした新人研修である。ここでは、ボランティアコーディネーターの重要性と基本的な知識およびヒューマン・サービス支援室との関係など学生 CO がヒューマン・サービス支援室で活動する上での基本的な事柄を理解することに主眼を置いた。また、学生 CO は一般学生（ボランティア紹介を希望する学生）への「ボランティアコーディネーション」を主たる活動とするため、外部講師をお招きしてボランティアやコーディネーションの基本について様々なワークショップを通じて学び、ロールプレイングを行った。

加えて、「学生 CO になった理由」や「自身の学生 CO としての強み」などを共有することで、多様な関心・価値観から学生 CO メンバーが構成されていることを確認した。

#### <研修の趣旨>

ヒューマン・サービス支援室学生 CO として必要となるスキルを認識し、それを身につけるために、次のとおりテーマを設定し、研修を行った。

- ① 学生 CO としてのアイデンティティ（何者か？誰とやるのか？何をやるのか？など）を確認する
- ② ヒューマン・サービス支援室の歴史やルールを知る
- ③ 学生 CO として身につけるべき基本的知識（ボランティアとは？コーディネーションとは？など）を知り、実践する
- ④ 学生 CO の日常活動（ルーティンなど）とメンバーのことを知る



## <研修内容>

### ① 基本的知識の確認

講師：ボランティアコーディネーター 成安 有希、岡 秀和

- － ボランティアセンターとは？  
何をするとところ？ / どうやってできたの？ / どんな役割があるの？
- － 学生COとは？  
何をすると？ / 何を意識して活動するの？

### ② 学生COの日常活動

講師：学生CO代表部、各部署リーダー

- － 年間目標の共有
- － ルーティンについて
- － 部署活動、実行委員活動について
- － 支援室で活動する上でのルール

### ③ ボランティアコーディネーターについて

講師：豊中市社会福祉協議会職員（2015年度－2018年度学生CO）窪田 風子 氏

- － ボランティアとは？  
ワークショップを通じて自ら考え、メンバー同士での共有を通じて多様な視点があることを知る。

講師の解説を通じてボランティアの語源や要素を学ぶ。

- ・ワーク① ボランティアのイメージを動物で表す
- ・ワーク② 学生COに入ろう（ボランティアしてみよう）と思った理由・きっかけは？
- ・ワーク③「働く（労働）」と「ボランティア」って何が違う？
- ・「ボランティア」の語源と「ボランティア」の要素について
- － ボランティアコーディネーションとは？

コーディネーションとは単なる情報提供ではなく、相手の新しい力を引き出す活動であることを確認する。

- ・ボランティアコーディネーターとは
- ・コーディネーションの基本の流れ
- ・コーディネーションの role play  
相互にフィードバック、「私の（コーディネーションの）武器はこれです！」発表
- ・コーディネーションで繋ぐもの：「人」と「人」、「想い」と「想い」



## 4. 来年度に向けて

### 2020年度西宮上ヶ原キャンパス学生CO代表

文学部2年  
中川 令実

2020年度の学生コーディネーター（学生CO）西宮上ヶ原キャンパス代表を務めることになりました、中川令実と申します。2020年度、ヒューマン・サービス支援室は設立から5年目を迎えます。そしてこれまでの間に学生COの活動体制も徐々に整ってきました。

学生COの組織体制として、部署制度があります。しかしながら、現時点で制度の運用がまだ軌道に乗っていないことが課題だと感じます。そこで、メンバーが各部署のエキスパートとして、各自の能力を活かし、1人1人がリーダーシップを発揮できるようになることを2020年度の目標とします。これにより活動の活性化を図り、団体として活動の質を上げる事ができると考えております。個々の力を積み重ねていくことで、学生COとして大きな成果を上げられるように邁進する所存です。

また、2019年度、私たちはボランティア活動に数多く取り組むことで、初心に戻りボランティアへの理解を深めてまいりました。次に私たちに求められるのは、この取り組みを活かし、自らの学びを周りに発信していくことだと思えます。

以上を踏まえ、2020年度は「Volume Up!」という年間目標を掲げて活動に取り組めます。この目標には「自身のレベルUp・仲良さUp・認知度Up」という3つの要素があります。学生COとして求められる能力を高め、仲間と結束し、発信していきます。個人のレベル、組織内のレベル、組織外のレベルのすべての段階において、ボリュームを上げて活動することで、ボランティアの活性化に励みます。

私たち学生COが声を上げて積極的に活動に取り組むことで、2020年度も温かな出会いやつながりが多くの人の中に生まれるよう、日々精進してまいります。

## 2020年度神戸三田キャンパス学生CO共同代表

総合政策学部1年 赤畑 清花  
理工学部1年 井吹 未奈

2020年度学生コーディネーター（学生CO）神戸三田キャンパス代表を共同で務めさせていただき、赤畑清花・井吹未奈です。神戸三田キャンパスの現状と今後の展望について述べさせていただきます。

神戸三田キャンパスにヒューマン・サービス支援室が開設されて2020年度で3年目を迎えます。我々が最初に取り組んだことが西宮上ヶ原キャンパスの支援室及び学生COとの連携です。2019年度まではキャンパスを越えた交流が少なく、イベントでもそれぞれが独自に活動し、お互いの動きを正確に把握できていないという課題がありました。この課題解決のため、我々は西宮上ヶ原キャンパスのヒューマン・サービス支援室へ訪問しミーティングへ積極的に参加しました。我々の訪問がキャンパス間を越えたより強固な協力関係の構築に繋がりはじめていることを実感しています。

今後は各個人が積極的に企画に参加できる環境を整えたいと考えています。そのために、代表として情報共有を確実にし、全員が当事者であるという意識を持てるように努力していきます。目標は、神戸三田キャンパス独自でボランティア啓発イベントの企画ができるようになることです。

神戸三田キャンパスのヒューマン・サービス支援室および学生COは西宮上ヶ原キャンパスと比べてまだまだ未熟な団体です。西宮上ヶ原キャンパスが長年の実績により構築したノウハウを持ち帰り、応用することで神戸三田キャンパス内での活動を盛り上げ、大学全体のボランティア活性化に寄与できるよう、誠心誠意取り組ませていただきます。

# 記錄事項

---



神戸新聞 (第 15 回)



仮設住宅の被災者らとおしゃべりをしながら交流する関西学院大の学生たち。熊本県益城町(関西学院大ヒューマン・サービス支援室提供)

## 被災地から

### 熊本地震 熊本・益城町

# 仮設期限迫り募る不安

016年の熊本地震で被害を受けた熊本県益城町でボランティア活動をした。町内3カ所の仮設住宅で、被災者らと一緒に菓子作りを楽しんだり、窓ふきなど掃除をしたりした。地震から3年半がたち、

「町の様子だけなら復興しているように見える」と関学大ヒューマン・サービス支援室職員、岡秀和さん(25)。しかし、町内18カ所の仮設住宅には11月末で1362人が暮らす。来年6月から順次入居期限を迎え、自宅を再建できない人は1カ所の仮設住宅に集約される予定だ。

仮設住宅からの退去日が迫り、岡さんは「別の仮設住宅や新居に引っ越して、新たなコミュニティーづくりに不安を抱えるお年寄りがいる。話を聞くだけでも力になれる」と話す。

(斉藤絵美)

【メモ】関学大ヒューマン・サービス支援室が学生に呼び掛け、熊本地震の発生直後から避難所などで活動し、今回で15回目。現地での活動は来年2月末～3月上旬を最後に終了する見通し。学生たちは来年1月、西宮市と芦屋市を放送区域に持つコミュニティFM「さくらFM」に出演し、今回の活動や益城町の現状などを報告する。同支援室 ☎0798・54・6061

主催イベント

春ボラ 表紙

春ボラ 裏表紙

新歓チラシ 表

新歓チラシ 裏

上ケ原・聖和ボランティア EXPO チラシ 表



上ケ原・聖和ボランティア EXPO チラシ 裏



上ケ原・聖和ボランティア EXPO 当日配布冊子 表紙



上ケ原・聖和ボランティア EXPO 当日配布冊子 裏表紙



三田ボランティア EXPO チラシ 表

三田ボランティア EXPO チラシ 裏

ボラツアーチラシ 表

ボラツアーチラシ 裏

出張ボラセンチラシ

ボケママ前でボランティアを紹介！  
気軽に立ち寄れて情報たくさん！  
ぜひ来てね～！

**出張ボラセン**

ボランティア情報を知りたい人！

10/23(水)～29(火)  
10:00～16:00  
※26.27日はお休みです  
@Pocket MAMA前

Twitter

ボランティアをやりたい人！

私たちは…  
**学生ボランティアコーディネーター**  
(学生CO)です！！

いつもは正門入って左手の「ヒューマン・サービス支援室」で、ボランティア情報の紹介をしています♪

連絡先  
学生CO  
■hssoco.coco16@gmail.com  
ボランティア活動支援センター  
ヒューマン・サービス支援室  
■kg.hssoco.info@kwansei.ac.jp  
平日 8:50～16:50開室  
(11:30～12:30は閉室)  
※土日祝日は終日閉室

関西学院大学

ボランティア week チラシ 表

ボラる? いいね!♡♡♡

意外と身近にできること、あなたと見つける1週間

**ボランティア week**  
2019/12/2-6

ボランティア week チラシ 裏

**プログラム**  
2019/12/2-6  
主催：関西学院大学 ボランティア活動支援センター  
ヒューマン・サービス支援室

ボラる? いいね!♡♡♡

**1 Let's! クリスマス**  
COと一緒にボランティアで、  
一緒にクリスマスを楽しもう！  
クリスマスツリーをみんなで飾りつけよう  
普段ボランティアの紹介をしている学生COが  
ツリーの飾りやお菓子を持ってきて皆さんに話しかけます！  
ついでにボランティアの話ししてみませんか？

内容

場所 ①上ヶ原 ポケットママ前  
②三 田 アカデミックコモンズ インフォメーションホール  
\*ツリー-いいねね #サンタ大騒動  
\*サンクレア #写真一緒に

**2 展示「Let's! みろはら2019」**  
学生コーディネーターの日々の活動をご紹介します！  
楽しいアンケートも実施。回答してね！

日時 2019年12月2日(月)～6日(金)

場所 ①上ヶ原 図書館エントランス  
②聖 和 ラーニングコモンズ リバ  
③三 田 アカデミックコモンズ  
インフォメーションホール

**3 災害ボランティア体験講座～楽しく学ぼう!～**  
内容：HUG (避難所運営ゲーム) 体験、  
災害ボランティアクイズ大会 など

日時 2019年12月7日(土)  
①10:00～12:00 ②13:00～15:00  
\*10:00～11:00は事前申込が必要  
\*12:00～13:00は防災体験のみです！

場所 上ヶ原キャンパス H号館305教室

ボランティア活動支援センター  
ヒューマン・サービス支援室とは？  
あなたの「ボランティアしたい!」を叶えます  
大学のボランティアセンターとして、留学生にボランティアに関する情報提供や相談活動をしています。  
職員・学生コーディネーターがお待ちしています。気軽に足を運んでください！  
▶上ヶ原キャンパス：正門を入ってすぐ左手 (平日8:50～11:30/12:30～16:50)  
▶三 田キャンパス：2号館2階210教室 (毎週火・木曜日12:30～16:30)

お問合せ： kg.hssoco.info@kwansei.ac.jp

## ボランティア活動支援センター規程

第1条 関西学院大学に関西学院大学ボランティア活動支援センター（以下「支援センター」という）を置く。

（目的）

第2条 支援センターは、ボランティア活動の支援に関する基本方針を策定する。

（業務）

第3条 支援センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 1 本学のボランティア活動に関する施策の企画・立案
- 2 本学のボランティア活動に関する全学的方針の立案及びその方策の推進
- 3 その他、前条の目的を達成するための業務
- 2 前項の事業を推進するために、支援センターにヒューマン・サービス支援室を置く。

（構成）

第4条 支援センターに次の構成員を置く。

- 1 センター長
- 2 センター副長
- 3 センター委員 3名（西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田各キャンパスから1名）

（センター長）

第5条 センター長は支援センターを代表し、第3条に規定する事項について統括する。

- 2 センター長は副学長の中から、学長が任命する。
- 3 センター長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター副長）

第6条 センター副長はセンター長を補佐する。センター長に事故あるとき、又はセンター長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 センター副長は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。
- 3 センター副長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター副長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター委員）

第7条 センター委員はセンター長及びセンター副長を補佐する。

2 センター委員は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。

3 センター委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター委員が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター会議）

第8条 ボランティア活動の支援に関する基本方針を定め、それに基づいて、ボランティア活動を評価し管理するため、センター会議を置く。

2 センター会議は次の委員をもって構成する。

- 1 センター長
- 2 センター副長
- 3 センター委員
- 4 大学宗教主事
- 5 学長補佐 1名
- 6 学生活動支援機構長補佐 1名
- 7 大学事務統轄
- 8 大学課長
- 9 学長が必要と認めた者 若干名

3 センター会議は、副学長が招集し、議長となる。

4 センター会議が必要と認めるときは、センター会議の議を経てセンター会議委員以外の者を出席させることができる。

第9条 センター会議は、次の事項を協議する。

- 1 本学のボランティア活動に関する施策の企画・立案
- 2 本学のボランティア活動に関する全学的方針の立案及びその方策の推進
- 3 支援センター予算・決算に関する事項
- 4 支援センター諸規程に関する事項
- 5 ヒューマン・サービス支援室の人事に関する事項

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、センター会議の議を経て大学評議会で決定する。

附 則

- 1 この規程は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。
- 2 この規程は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。

---



---

## ヒューマン・サービス支援室規程

---

第1条 この規程は、関西学院大学ボランティア活動支援センター（以下「支援センター」という）規程第3条第2項に基づき、ヒューマン・サービス支援室（以下「支援室」という）について定める。

（目的）

第2条 支援室は、ボランティア活動の支援に関する基本方針に基づき、学生等によるボランティア活動を支援し促進することを目的とする。

（業務）

第3条 支援室は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 1 ボランティア活動への支援・助言
- 2 ボランティア活動に関する情報収集と提供
- 3 ボランティア活動への啓発
- 4 ボランティア活動に関する評価及びそれに伴う公表
- 5 ボランティア活動協議会の開催
- 6 その他、前条の目的を達成するための業務

（構成）

第4条 支援室に次の構成員を置く。

- 1 室長
- 2 副室長 3名
- 3 ボランティアコーディネータ
- 2 室長は、支援センター副長が兼ねる
- 3 副室長は、支援センター委員が兼ねる

（室長）

第5条 室長は支援室を代表し、第3条に規定する事項について統括する。

- 2 室長は本学専任教員の中から支援センター長が推薦し、学長が任命する。
- 3 室長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、室長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（副室長）

第6条 副室長は室長を補佐する。室長に事故あるとき、又は室長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 副室長はボランティアに関する知識を有する本学専任教員とし、支援室長が推薦し、学長が任命する。
- 3 副室長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、副室長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（ボランティアコーディネータ）

第7条 ボランティアの全学的な推進と調整を行うため、支援室にボランティアコーディネータを置く。

- 2 ボランティアコーディネータは室長が推薦した者を、支援センター長が任命・委嘱する。
- 3 ボランティアコーディネータの任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、ボランティアコーディネータが任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

4 ボランティアコーディネータは学生コーディネータを助言指導する。

（学生コーディネータ）

第8条 ボランティア活動支援センター長はヒューマン・サービス支援室の業務の遂行にあたって、参加・協力する学生に対し学生コーディネータを委嘱することができる。

2 学生コーディネータはヒューマン・サービス支援室と協働し、ボランティア紹介とボランティア啓発活動を実施する。

（支援室運営委員会）

第9条 支援室の円滑な運営を図るため、支援室運営委員会（以下「運営委員会」という）を置く。

2 運営委員会は次の委員をもって講成する。

- 1 室長
- 2 副室長
- 3 学長補佐 1名
- 4 学生活動支援機構長補佐 1名
- 5 大学課長

3 運営委員会は、室長が招集し、議長となる。

4 運営委員会が必要と認めるときは、運営委員会の議を経て運営委員以外の者を出席させることができる。

第10条 運営委員会は、次の事項を企画・立案し、支援センター会議に提案する。

- 1 ボランティア活動への支援・助言
- 2 ボランティア活動に関する情報収集と提供
- 3 ボランティア活動への啓発
- 4 ボランティア活動に関する評価及びそれに伴う公表
- 5 ボランティア活動協議会の開催
- 6 その他、前条の目的を達成するための業務

（協議会）

第11条 室長は、関西学院大学で活動するボランティア団体の交流・協働を促進するため、室長、副室長による協議会を置き、開催する。

（規程の改廃）

第12条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て大学評議会で決定する。

附 則

- 1 この規程は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。
- 2 この規程は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 3 この規程は、2019年（平成31年）4月1日から改正施行する。

了解事項

ボランティアコーディネータは期限付契約職員とする。

---

---

ボランティア活動支援センター名簿

---

ボランティア活動支援センター長 富田 宏治（法学部教授・副学長）	ボランティア活動支援センター委員 川島 恵美（人間福祉学部准教授）
ボランティア活動支援センター副長 武田 丈（人間福祉学部教授）	岩坂 二規（教育学部准教授） 照本 清峰（総合政策学部教授）
	ボランティアコーディネーター 成安 有希 岡 秀和

---

---

ヒューマン・サービス支援室名簿

---

ヒューマン・サービス支援室長 武田 丈（人間福祉学部教授）	ボランティアコーディネーター 成安 有希
ヒューマン・サービス支援室副室長 川島 恵美（人間福祉学部准教授） 岩坂 二規（教育学部准教授） 照本 清峰（総合政策学部教授）	岡 秀和

---

---

2019年度 学生コーディネーター代表部名簿

---

〈西宮上ヶ原キャンパス〉	〈神戸三田キャンパス〉
代表： 沖本 祐基（文学部 3年）	共同代表： 渡部 美沙（総合政策学部 2年）
副代表： 福元 幹修（商学部 3年）	大塚 陽菜（総合政策学部 2年）
新田 桃子（文学部 3年）	

2019 年度  
関西学院大学ボランティア活動支援センター  
ヒューマン・サービス支援室 活動報告書  
2020 年 9 月 発行

---

関西学院大学ボランティア活動支援センター  
ヒューマン・サービス支援室  
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155  
TEL: 0798-54-6061 FAX: 0798-54-6161  
E-mail: kg.hssso.info@kwansei.ac.jp  
URL: [https://www.kwansei.ac.jp/c\\_volunteer/](https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/)